

# 東北医科薬科大学 若林病院 連携だより

## 病院長就任ご挨拶



東北医科薬科大学 若林病院 病院長 あべ たつや 阿部 達也

皆様、初めまして。佐藤譲前院長の後任として2018年4月1日に着任いたしました阿部と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は約20年前に当時の東北厚生年金病院に赴任し、勤務してまいりました。2013年4月、東北厚生年金病院は、事業譲渡により東北薬科大学病院と改称され、2016年4月には東北医科薬科大学の附属病院となり、東北医科薬科大学病院と改称されました。このとき当院も附属病院の一員に加わり、前身のNTT東日本東北病院から東北医科薬科大学若林病院に改称されました。なお、2017年9月には東北医科薬科大学名取守病院が三番目の附属病院として誕生しています。

当院は1979年に日本電信電話公社東北通信病院として開設されました。開院当時のエピソードや東日本大震災での救急医療など病院のパフォーマンスについては2016年3月にまとめられた「NTT東日本東北病院史」に詳しく掲載されており、全職員の実力のみならず、大学教授を経験された歴代院長のリーダーシップに依る部分も大きいと推測しております。教官の身分になかった私が後任を務めることに戸惑いを感じますが、病院の運営に関し、地域連携や医療安全に加えて私には特殊な役割も課せられていると考えています。

大学病院としての役割にはいうまでもなく診療の他に医学教育と研究があります。医学教育における総合診療医の育成という当大学のミッションを含め、3期生が入学したばかりの現在はその準備期間中です。そして当院は附属病院間の病床再編成や人事交流という重要な作業の中でその準備をすることになります。さらに、診療報酬の調整だけではいずれ対応が困難になると予想される医療需要（とくに人口の高齢化）／医療資源（医療従事者と資金）のアンバランスの問題を抱えての病院運営が求められています。

以上のような課題設定をしている私は宮城県出身です。登米、石巻をへて中学以降は仙台に住んでいます。東華中、仙台一高、および東北大学を卒業しました。専門は呼吸器内科で、大学卒業後は抗酸菌病研究所（現加齢医学研究所）で約20年間研究・教育・診療に従事しました。この新参者に対し、忌憚のないご意見とご指導、およびご支援をお願い申し上げます。（恩師、資格、趣味・特技等は省略しました。）

### 病院理念

人権と生命の尊厳を守り、心のこもった  
温かい良質な医療の提供に努めます。

### ～目次～

- 病院長就任ご挨拶……………P.1
- 院長退任のご挨拶・退任医師よりご挨拶……………P.2
- 診療科紹介－整形外科－……………P.3
- 東北医科薬科大学 若林病院 連携の会 アンケート結果・Topics ……P.4

## 院長退任のご挨拶



### 「5年間お世話になりました」

東北医科薬科大学 若林病院 名誉院長兼健診センター所長  
佐藤 譲

私は2018年3月末日で院長定年となり阿部達也新病院長と交代しました。5年間という短い期間でしたが、連携医療機関の先生方や医療スタッフの皆様には大変お世話になりました。

思い起こすと、2013年岩手医科大学糖尿病代謝内科教授を定年後にNTT東日本東北病院に赴任し、佐々木毅前院長の後任として院長を拝命しました。「心のこもった温かく良質な医療の提供」という理念を引継ぎ、地域医療に尽くして参りました。しかし、3年後にNTT東日本(株)本社の方針によって東北病院は36年間の歴史に幕を閉じ、2016年3月に東北薬科大学に経営譲渡され現在の若林病院が誕生しました。この変動の中で、私は図らずも最後の院長と若林病院の初代院長という貴重な経験をさせて頂きました。

時代の流れの中で病院職員、医療人はどこに行くのかと自問しましたが、結論は簡単でした。経営母体が替わっても医療人の使命は変わらず、病める人を助けるというプロフェッショナルな仕事を淡々とこなしていました。病院の理念に沿って診療に尽力したとき患者や家族から職員に感謝の手紙が届き、理念に反したとき抗議の投書が来ました。地域医療には心のこもった温かい医療が必須なことをひしひしと実感しました。

東北医科薬科大学の一員となって若林病院の役割には医療だけでなく医療人教育や研究活動も加わりますが、当院に大きく期待されるのは本院や地域の先生方との連携を強めながら地域に貢献する良質な医療の提供です。連携医療機関の皆様、これからも若林病院をよろしくお願い致します。

なお、私は引き続き若林病院において健診センターの仕事と糖尿病外来の診療を続けますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



## 退任医師よりご挨拶



産婦人科  
虎谷 惇平 医師

平成29年7月から平成30年3月までの9ヶ月間、東北医科薬科大学 若林病院産婦人科で勤務させていただきました。地域の先生方、医局の先生方、たくさんのスタッフの皆さんよりご指導いただき、産婦人科医師1年目でありながら、高度な内視鏡手術を初めとして、産婦人科医師に必要な技術を学ばせていただきました。

4月からは仙台医療センターで勤務させていただく予定ですが、当院で学んだ経験を仙台の医療に少しでも貢献できるように精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。  
(平成30年3月末日退職)



初期研修医  
熊谷 輝 医師

平成28年4月より2年間若林病院で勤務させていただきました。ちょうどNTT東日本東北病院から東北医科薬科大学 若林病院へ変わるタイミングの入職でしたが、皆様にご指導いただきながら支えられ、2年間過ごして参りました。初めての社会人経験ということもあり、至らぬ点多々あったかと思いますが、心より感謝申し上げます。

今後は職務内容が全く違うものになるため、不安も期待もありますが、この病院での経験を生かしていきたいと思っております。お世話になりました、本当にありがとうございました。  
(平成30年3月末日退職)

お世話に  
なりました

呼吸器内科 田中 章子 医師

平成30年3月末日退職





# 診療科紹介 — 整形外科 —

整形外科医長 齋藤 毅



整形外科外来の体制は、常勤1名に加えて東北大学病院からの応援（毎週月曜日と水曜日）と、前任の鈴木恒彦先生（金曜日の月2回程度）が診察を行っております。患者対象は、小児から、高齢者までのすべての年齢層で、急性発症から慢性期までの診療に対応しております。

最近の整形外科の診療は、レントゲン写真だけでなく、非侵襲的な検査である超音波検査が、肩関節・股関節・軟部腫瘍などの診断に非常に有用です。さらに必要時はCTやMRIを用いての診断を追加しております。

また、“いつの間にか骨折”という言葉があるように、明らかな外傷の既往がなく骨折している患者さんも多く、この原因となる骨粗鬆症の患者さんの診察と治療にも力を入れています。骨密度検査においては、当院ではDEXA (dual-energy X-ray absorptiometry) 法を用いています。骨粗鬆症診断基準（2011年版）でもDEXA法を用いて計測することが推奨されており、最も信頼の高い骨量測定法です。

骨粗鬆症治療は、ここ10年ほどで大きく変化しております。以前は、カルシウムとビタミンDやビタミンKなどの薬剤しかありませんでしたが、昨今は、内服薬をはじめ、静脈注射や皮下注射、点滴などの種類があり、投与間隔も1ヶ月、6ヶ月、1年と選択の幅も広がっております。患者さんの年齢や既往症などを考慮し、適切な治療薬を選択し、治療薬ごとに丁寧にパンフレットや日誌を用いて指導するように努めています。骨粗鬆症治療中は、骨密度検査に加え、定期的に採血や採尿を行い、骨代謝マーカーや生化学のデータを確認しながら治療を行っております。

いつも大切な患者さんをご紹介いただきありがとうございます。当外来へのご紹介患者さんの対応には、おひとりおひとりに待ち時間のない上質な診察をお約束するために、連携室を介した予約診察をお願いしております。当日のご紹介や緊急を要する場合には、整形外科外来までご連絡いただくと幸いです。今後とも、何卒よろしく願いいたします。



写真 下段左から 鈴木医師、齋藤医師

若い時より身長が縮んだ方や腰が曲がった方 東北医科薬科大学 若林病院 整形外科

## 骨密度測定をしてみませんか？

骨密度検査は、骨粗鬆症を早期発見・治療するために必要な検査です。骨の健康をチェックしてみましょう。

### 骨粗しょう症とは？

骨がスカスカになり、骨折しやすくなる病気で、骨折により、日常生活に支障がでることもあります。特に、女性は女性ホルモンのバランスが崩れる閉経後に多く見られます。



当院で骨密度測定ができます  
整形外科の受診をご相談下さい



30分程度の検査です



この用紙で説明します



### 【診療体制】

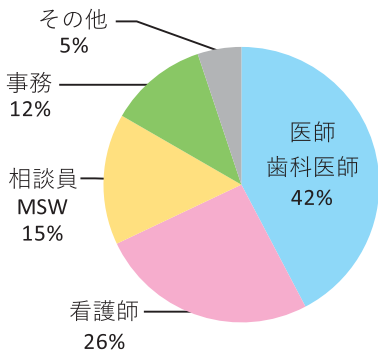
		月	火	水	木	金
整形外科 (手術：水)	午前 【受付】8:00-11:00	菅谷岳広	齋藤 毅	千葉大介	(完全予約) 齋藤 毅	齋藤 毅 鈴木恒彦 (月2-3回)

# 東北医科薬科大学 若林病院 連携の会 アンケート結果

平成 29 年 11 月 21 日 (火) にホテルメトロポリタンにて、連携の会を開催いたしました。当日の第一部終了後に、院外出席者の方々にご協力いただいたアンケートの結果をご報告いたします。

【アンケート回収率】 78.79% (配布：99 名、回収：78 名)

【回答者職種別割合】



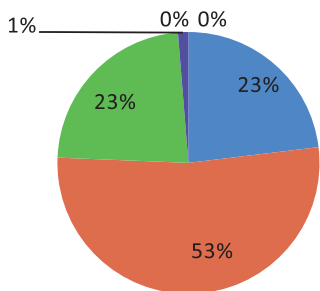
【連携の会全体のご意見・ご感想】 ※一部ご紹介

- ・多職種との連携を図ることができ、大変有意義な時間となりました。
- ・紹介をする際の参考となる得意分野がわかり、良かった。
- ・看護師の発表があり良かった。
- ・今後どのように若林病院がなっていくのか知りたかった。
- ・介護事業所が少ない。医療・介護連携の時には双方の事業者がたくさん参加できれば良い。

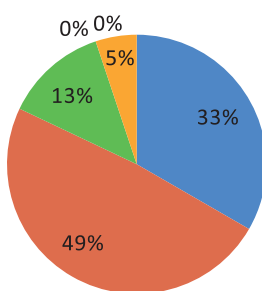
【当院に対するご意見・ご要望】 ※一部ご紹介

- ・紹介状の返信がないことが多いです。
- ・引き続き若林病院が存続し、地域の急性期疾患治療を継続していただくことを切望しております。

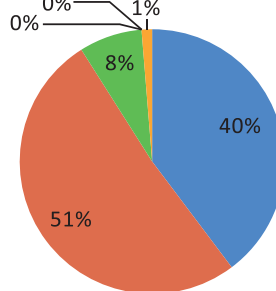
【開催時期について】



【講演：呼吸リハビリテーションと地域医療】



【講演：産婦人科診療における当院の役割とは】



- 非常に満足
- 満足
- 普通
- やや不満
- 不満
- 未回答

## Topics



◆ TV 取材・放映されました!!

平成 30 年 3 月 25 日、ミヤギテレビ『発見! 宮城のスマイルさん』(毎週日曜、夜 9 時 54 分～10 時 00 分放送)にて、当院地域包括ケア病棟看護師 星 友香里さんが紹介されました。

TV 放送では、地域のケアマネジャーや訪問看護師と退院された患者さんのケアや支援を振りかえる在宅ケアカンファレンスの様子や、病棟で患者さんやご家族と関わる様子が放映されました!



～取材を受けて～

自身の看護観を振り返る良い機会となりました。

患者さんがこれまで歩んできた人生を大切に思いながら、患者さんと関わることのできる看護師になれるよう頑張ります!

東北医科薬科大学 若林病院  
地域医療連携・相談室

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1  
TEL 022-236-5899 FAX 022-236-5920